

II 本調査研究の概要

1. 教科書改善に関する「調査研究委員会」を発足する。
2. 本調査研究委員会は、教科書発行会社をはじめ、学校関係者、自治体、医学関係者、化学物質の専門家、印刷・インキ・製紙・流通関係者からなるメンバーで構成する。
3. テーマ別に二分科会を設置し、集中審議を行った後、全体委員会に報告し検討する。

A 実態調査分科会における調査研究の内容

- ① 児童・生徒の体調悪化と教科書との因果関係を調査するため、事例が報告されている学校の協力により実態調査を行う。
- ② 化学物質過敏症の児童・生徒からの要望による対処方法として、現在教科書協会で実施中の、「天日干し」・「表紙コピー本」・「表紙未加工本」・「全頁コピー本」・「消臭紙」等について、学校にアンケート調査を行い、その効果確認と新たな対処法について調査研究を行う。
- ③ 児童・生徒の協力により様々な教科書素材のサンプル調査を行い、体調悪化を招かない、より有効な素材で教科書のモデルを作成し、再度アンケート調査を行う。
- ④ 関係諸団体には、必要に応じてヒアリングを実施する。
- ⑤ 化学物質の吸着しにくい輸送及び保管方法について調査研究を行い、流通環境の整備を検討する。

B 素材調査分科会における調査研究の内容

- ① 小・中・高等学校教科書の中からサンプルとしての教科書を選定し、教科書から放散する揮発性有機化合物(以下 VOC)について分析調査する。
 - ② 現在対応している方法について、その効果確認のため、5種類の対応本(上記 A②を参照)についても成分分析を行う。
 - ③ 紙は、その特性から、置かれた環境に存在している化学物質を吸着する性質があるため、印刷してから児童・生徒に給与される過程の教科書を採取して、各々の環境による成分分析により、保管・供給過程における問題点を整理する。
4. 実施した調査研究委員会・分科会

実施日	調査研究委員会	分科会	その他
8月26日	第1回	第1回実態調査・第1回素材調査(合同)	
9月19日		第2回実態調査・第2回素材調査(合同)	アンケート調査
10月17日		第3回実態調査・第3回素材調査	
11月5日		第4回実態調査・第4回素材調査	成分分析(41種) ダイヤ分析センター
11月10日	第2回		
1月14日		第5回実態調査	
1月15日		第5回素材調査	
2月16日		第6回実態調査・第6回素材調査(合同)	
3月4日	第3回		